

株式会社ゼネテック

# 2022年3月期決算説明資料

証券コード：4492



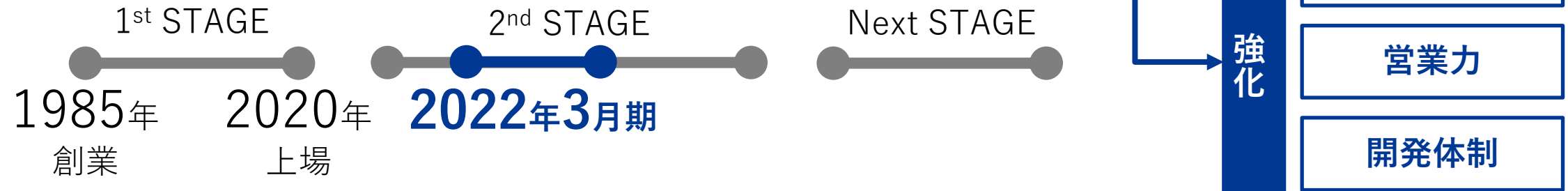
# 目次

- ① 2022年3月期決算概況
- ② 2023年3月期業績予想
- ③ 事業経営の方向性
- ④ Appendix

# 2022年3月期決算概況

# 2022年3月期決算サマリー

2020年3月上場を機に、更なる飛躍へ向けた戦略的投資を実施



## サマリー

- 社会のデジタルトランスフォーメーション（DX）推進の潜在的な需要の高まりを上手く捉え、**2022年3月期の連結売上高は、前期比603百万円増の4,683百万円とコロナ禍前の水準まで急回復**
- 製造業・物流業のDX化提案型事業であるエンジニアリングソリューション事業が大幅に進展。デジタルソリューション事業、ココダヨ事業も好調に推移し、**売上総利益1,962百万円、セグメント利益1,066百万円は過去最高益**
- **戦略的投資を行った結果、当期純利益は前期△116百万円の56百万円と減益**

## 戦略的投資

- 04月：BIRD INITIATIVE(株)との協業による、日本の製造業の再生・復活を実現するソリューション開発を開始
- 10月：デジタルファクトリーの核となる「iPerfecta」発売開始
- 12月：知名度・ブランド向上による売上拡大と優秀な人材確保を狙った施策実施
  - ・西新宿高層ビルへの本社移転
  - ・コーポレートロゴの刷新
- 01月：SAP導入のシステムコンサルティング事業を展開する(株)バートの全株式取得
- 02月：テレビCMによるプロモーションを開始

# 決算概要

売上高はDX推進の潜在的な需要の高まりを捉え、前期比+14.8%（603百万円増）となり増収  
 戦略的投資を実施した結果、当期純利益については前期比△67.3%となり減益

(百万円)	2021年3月期	(構成比)	2022年3月期	(構成比)	増減額	前期比
売上高	4,079	100.0 %	4,683	100.0 %	+ 603	+ 14.8 %
売上総利益	1,561	38.2 %	1,962	41.9 %	+ 400	+ 25.6 %
(セグメント利益)	(830)	20.4 %	(1,066)	22.8 %	+ 235	+ 28.4 %
販管費	1,307	32.1 %	※1 1,772	37.8 %	+ 464	+ 35.5 %
営業利益	254	6.2 %	190	4.1 %	△ 64	△ 25.2 %
経常利益	276	6.8 %	254	5.4 %	△ 21	△ 7.7 %
親会社株主に帰属する 当期純利益	173	4.3 %	※2 56	1.2 %	△ 116	△ 67.3 %

※1：広告宣伝投資として、200百万円を計上

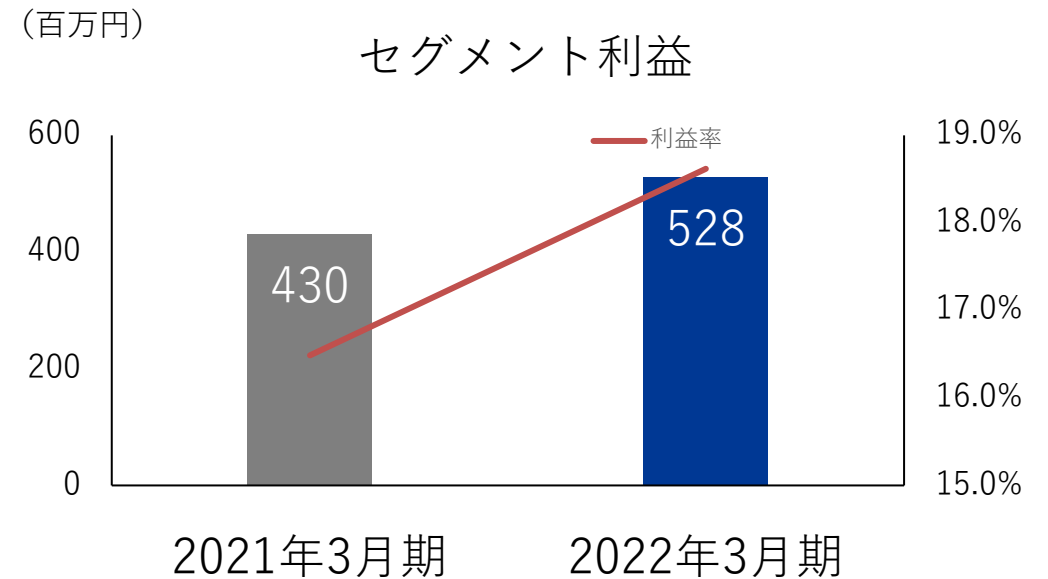
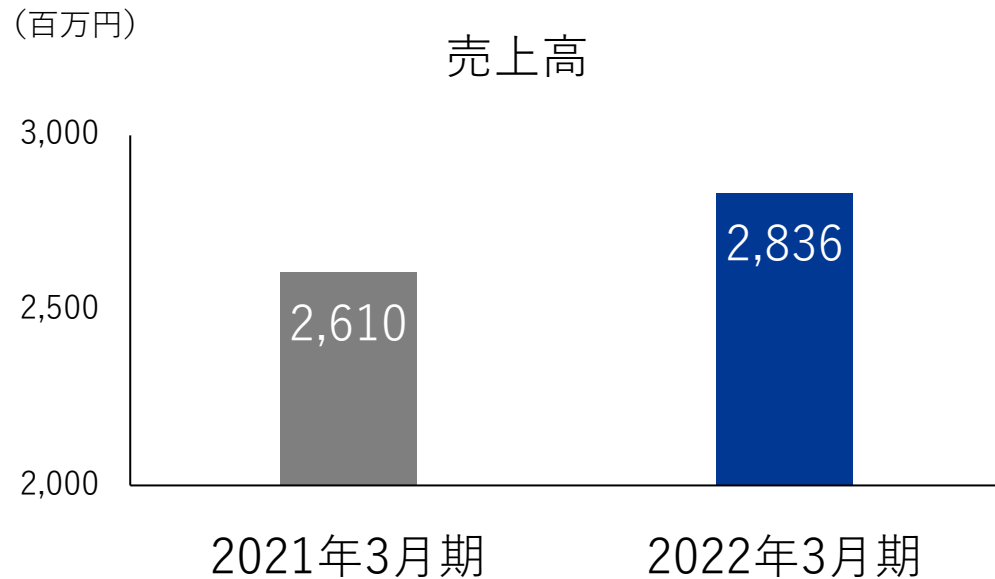
※2：本社移転費用として、137百万円を特別損失に計上

# セグメント別業績

デジタル ソリューション	大手取引先の拡充、高収益案件へのシフト等で増収増益		<前期比>
	売上高	: 2,836 百万円	+ 8.6 %
	セグメント利益	: 528 百万円	+ 22.9 %
エンジニアリング ソリューション	Mastercam/FlexSimの販売が好調に遷移し、増収増益		
	売上高	: 1,426 百万円	+ 21.5 %
	セグメント利益	: 362 百万円	+ 28.0 %
ココダヨ	スゴ得コンテンツからの売上が好調に遷移し、増収増益		
	売上高	: 443 百万円	+ 47.0 %
	セグメント利益	: 175 百万円	+ 49.6 %

# デジタルソリューション

資本金増額効果と営業面の強化の結果、大手取引先をバランスよく拡充できたことにより売上高が増加（225百万円増）。稼働率の改善および高収益事業へのシフトにより利益率も向上（16.5%→18.6%）

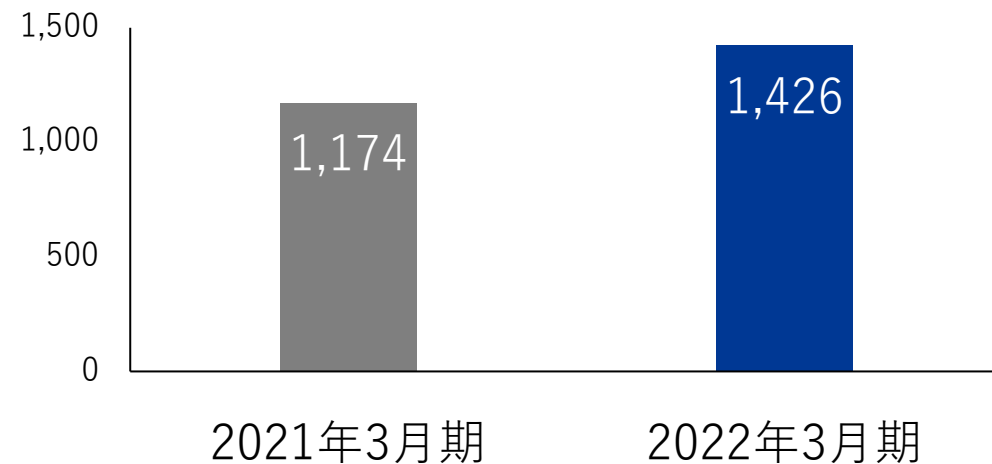


# エンジニアリングソリューション

3次元CAD/CAMソフトウェア「Mastercam」および製造ライン・物流倉庫等の生産性向上&最適化を実現するソフトウェア「FlexSim」の積極的な拡販策が功を奏し、過去最高の売上高、セグメント利益を達成

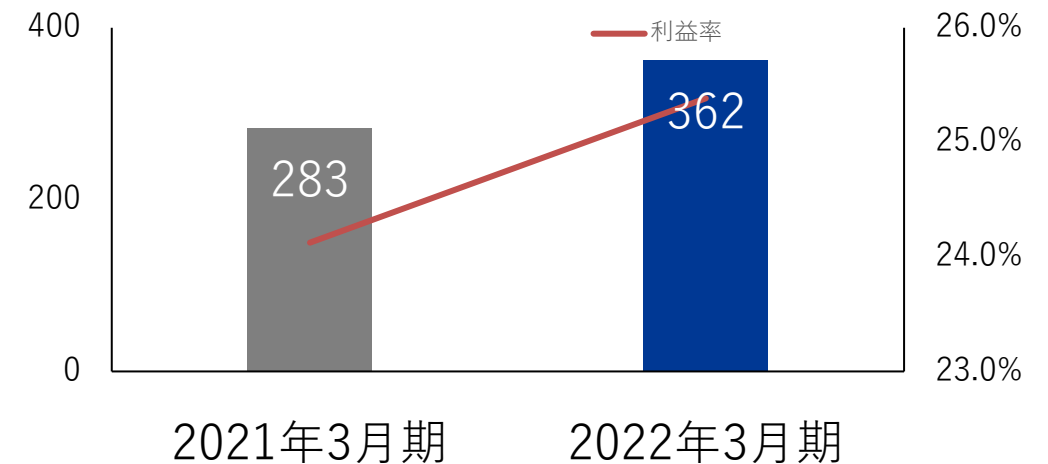
(百万円)

売上高



(百万円)

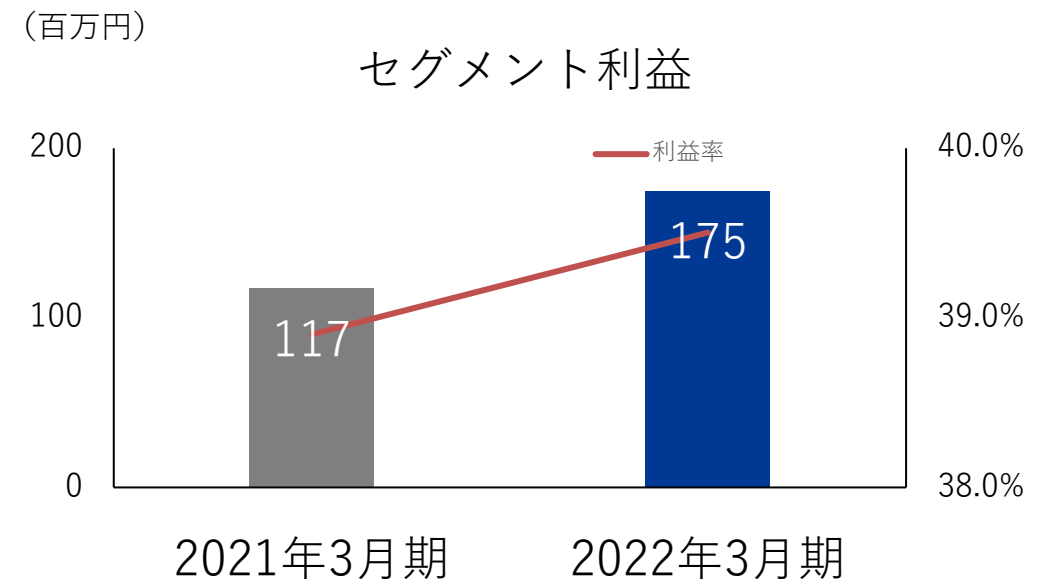
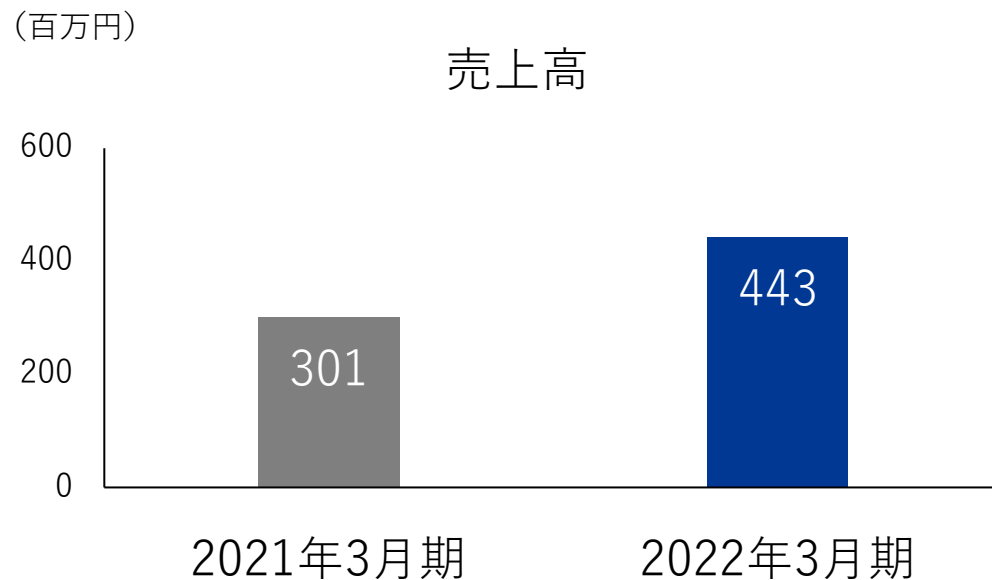
セグメント利益





# ココダヨ

NTTドコモ「スゴ得コンテンツ」のアクティブユーザが約35万人に進捗、TVコマーシャルの効果もあり2022年3月末時点において累計75万ダウンロードを突破し、増収増益



# 戦略的投資：BIRD INITIATIVE(株)との協業開発

日本の製造業の再生・復活を実現するため、BIRD INITIATIVE(株)と協業を開始。

世界初のAIと「FlexSim」を組み合わせた「iPerfecta」を開発し、2021年10月にリリース

デジタルツイン×世界初のAIで、製造・物流DXを強力に推進



1

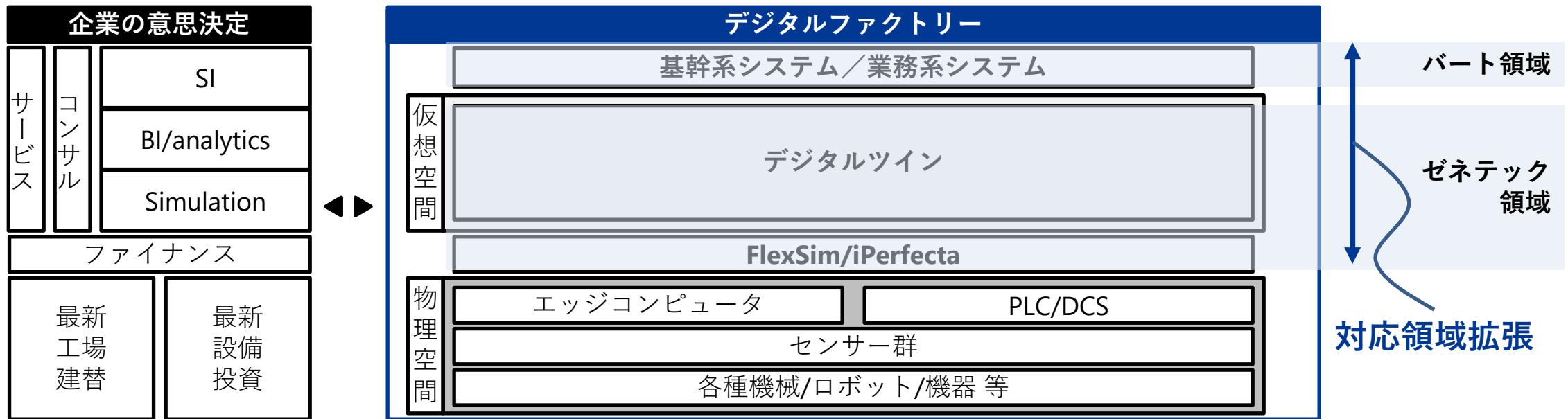
従来よりも少ないデータで精巧なデジタルツインを構築。現実を正確に再現

2

「結果」に基づく全体最適化、成果最大化のシナリオを高速・高精度で導く

# 戦略的投資：(株)バートのM&A

日本の製造業の再生復活を後押しするデジタルファクトリー化を一気通貫で推進する業務系システムの対応力獲得を目的に、ノウハウを保有する(株)バートのM&Aを実施

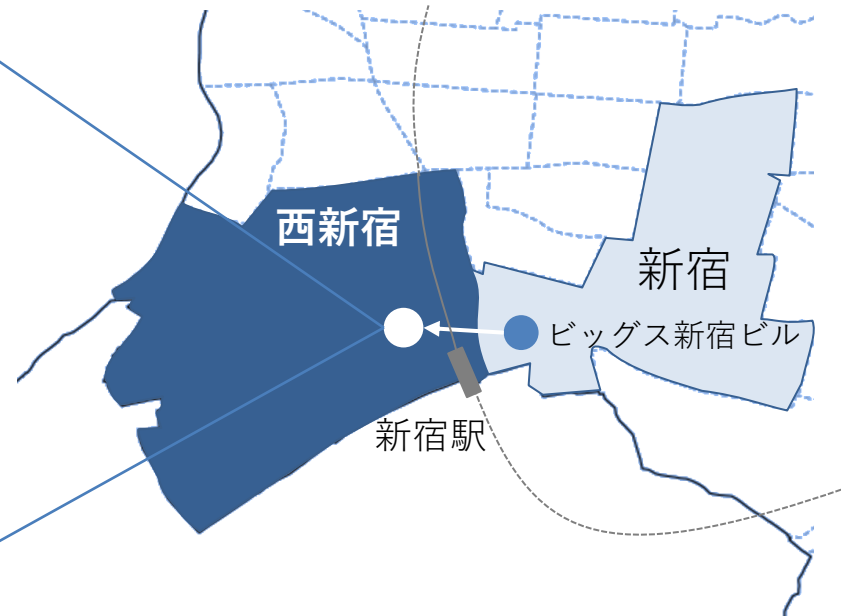


# 戦略的投資：本社移転

知名度・ブランド力向上による売上拡大と優秀な人材確保を狙った  
西新宿高層ビルへの本社移転を実行



新宿アイランドタワー



# 戦略的投資：コーポレートロゴ・マーク刷新

企業の成長ステージに合わせて、コーポレートロゴ・マークを刷新

■ 旧ロゴ・マーク



使用期間：2005年7月1日～2021年12月5日

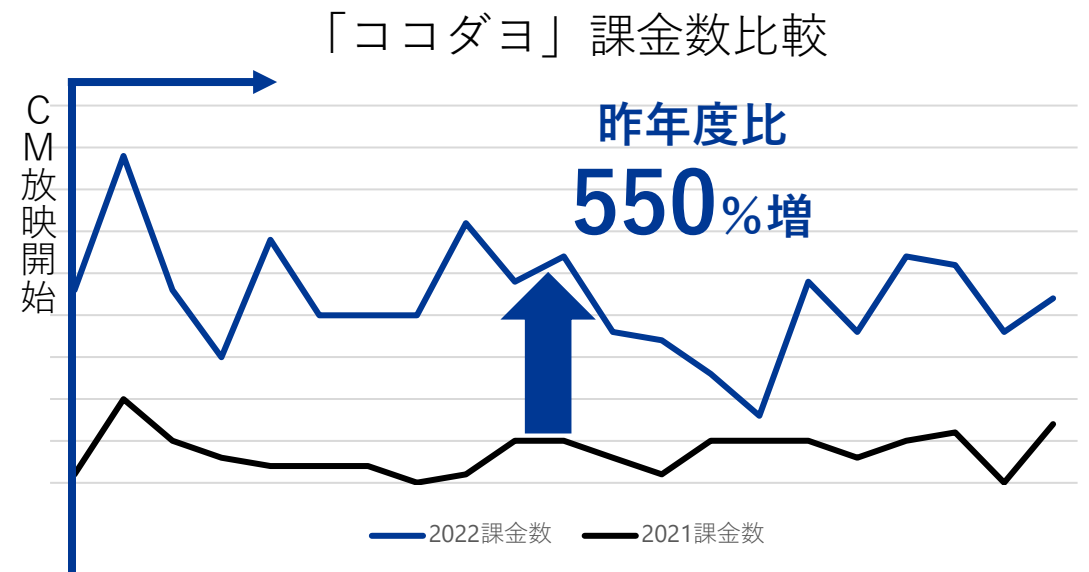
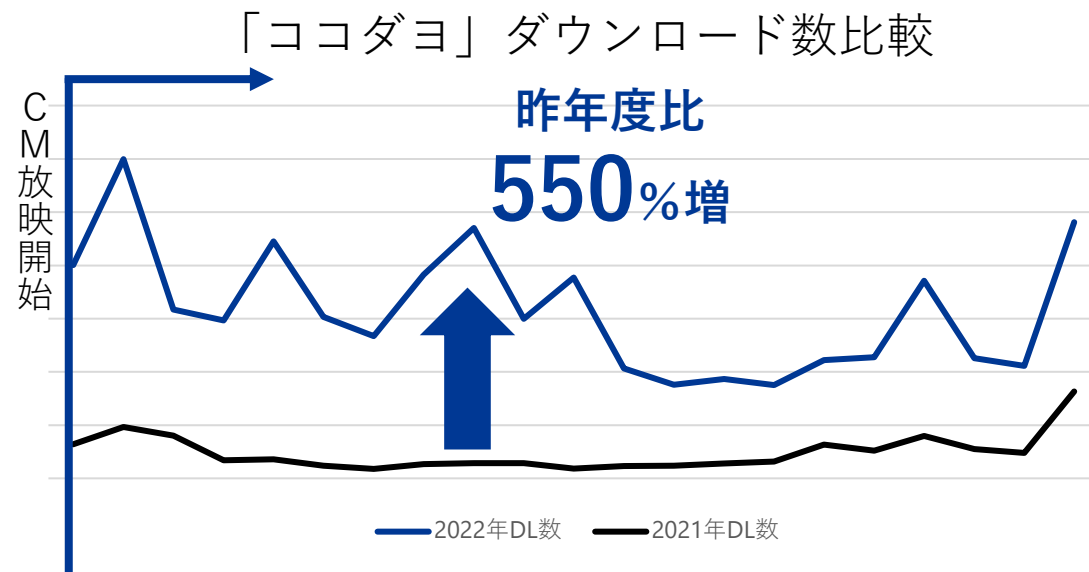
■ 新ロゴ・マーク



使用開始：2021年12月6日～

# 戦略的投資：テレビCM等プロモーション成果例①

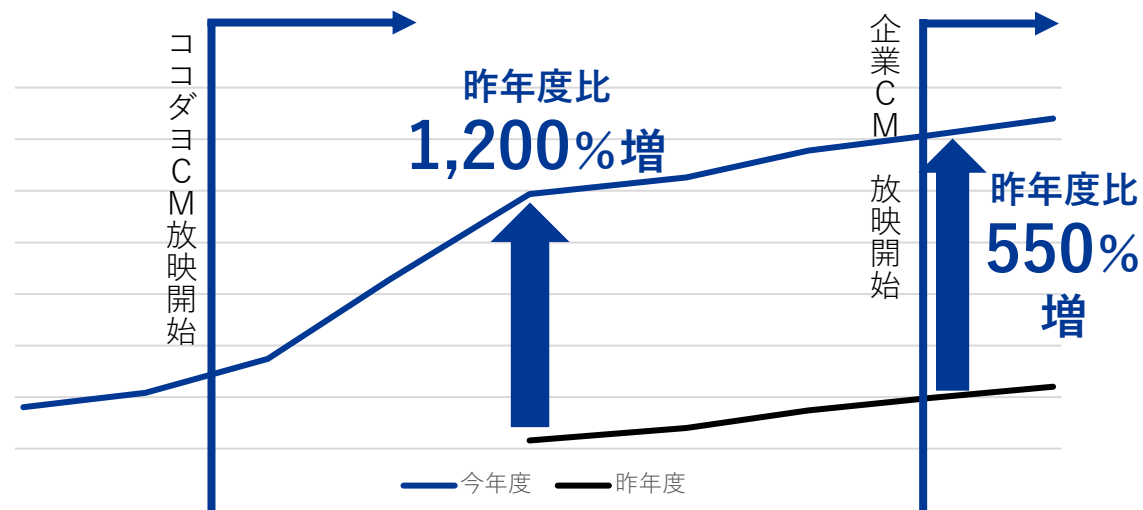
2022年2月19日～3月11日に放映した「ココダヨ」をテーマにしたテレビCMを皮切りに、企業ブランディングCM、交通広告等を実施。ココダヨCM放映期間中、前年同時期と比較し、ダウンロード数、課金数が550%増加。放映後もベースアップ効果が出ている



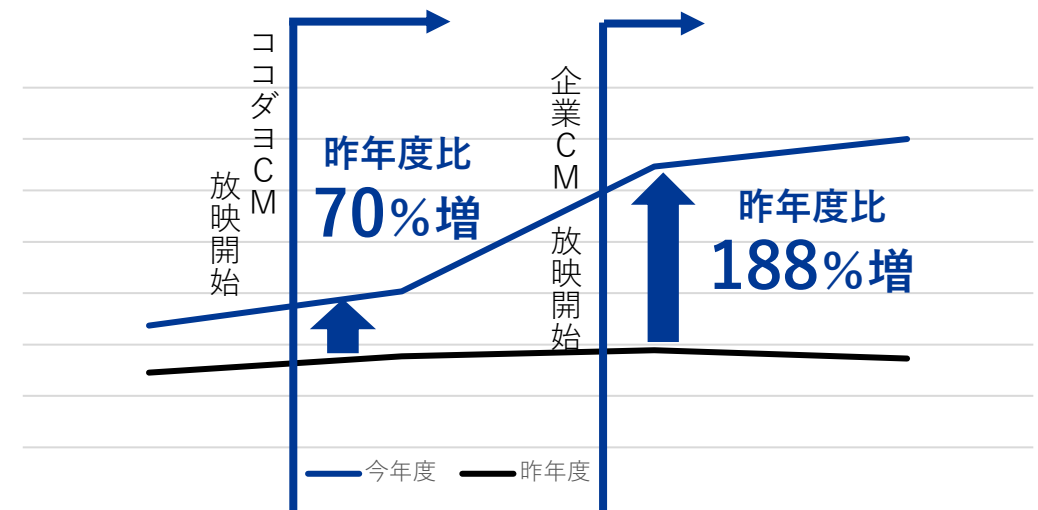
## 戦略的投資：テレビCM等プロモーション成果例②

企業認知度を高めることでブランド力、営業力、採用力を同時に強化することを狙った、企業ブランディングCMを3月26日より実施。ココダヨCMの効果を強化し、採用サイト訪問者数、コーポレートサイト閲覧者数の成長が継続。放映終了後もベースアップ効果が出ている

採用サイト訪問者数比較



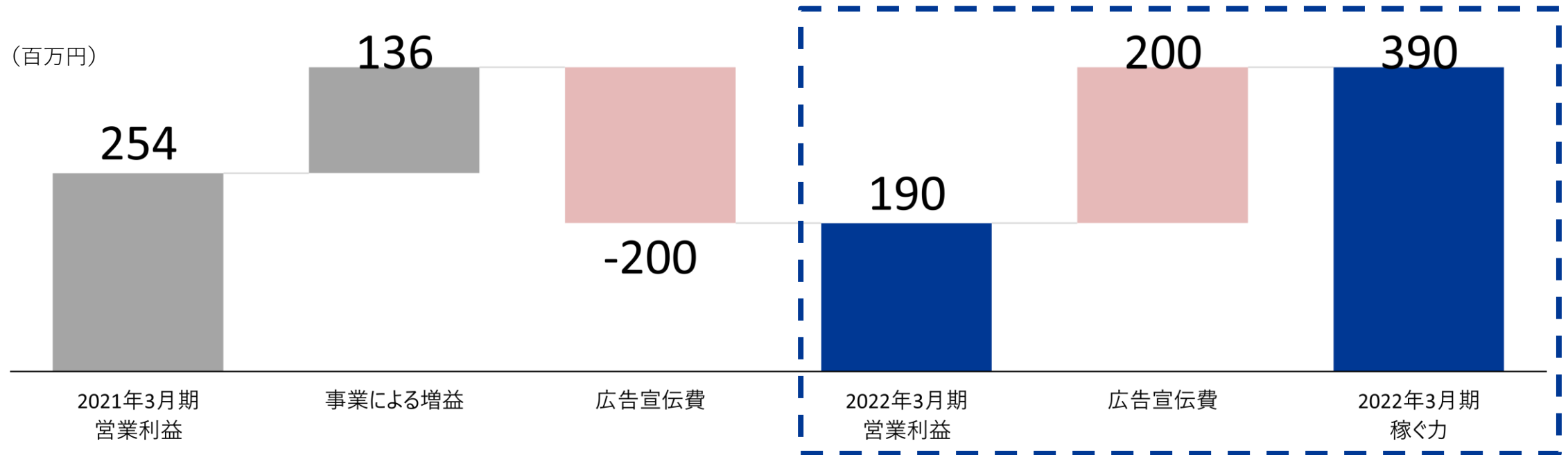
コーポレートサイト閲覧者数比較



# 参考) 営業利益増減分析

戦略的に投じた広告宣伝費（200百万円）を除く

「稼ぐ力（営業利益＋広告宣伝費）」は390百万円と着実に伸長





# 2023年3月期業績予想

# 2023年3月期業績予想サマリー

- 昨年度からの戦略投資効果の具現化と、製造ライン・物流倉庫等の生産性向上 & 最適化を実現するソフトウェア（FlexSim/iPerfecta）の本格的な拡販開始により、**売上高5,960百万円（前年度比27.3%増）、営業利益270百万円（同42.0%増）と大幅な増収増益**を計画
- 株主還元については、**株主の方への利益還元を経営上の最重要課題のひとつ**と考え、事業環境、財務状況、経営成績を考慮のうえ、内部留保と配当のバランスを考えた利益分配を行う
- 23/3期の配当予想は、昨年度中間配当の上場1周年記念配当4円を除く10円配当を継続

# 2023年3月期業績予想

売上高 前期比+27.2%成長。営業利益、経常利益、当期純利益 増益予想

(百万円)	2022年3月期	(構成比)	2023年3月期	(構成比)	増減額	前期比
売上高	<b>4,683</b>	100.0 %	<b>5,960</b>	100.0 %	<b>+ 1,276</b>	<b>+ 27.3 %</b>
営業利益	<b>190</b>	4.1 %	<b>270</b>	4.5 %	<b>+ 79</b>	<b>+ 42.0 %</b>
経常利益	<b>254</b>	5.4 %	<b>260</b>	4.4 %	<b>+ 5</b>	<b>+ 2.1 %</b>
親会社株主に帰属する 当期純利益	<b>56</b>	1.2 %	<b>170</b>	2.9 %	<b>+ 113</b>	<b>+ 200.1 %</b>

# 売上高について

既存ビジネスのオーガニックグロースに加え、業務系システム案件による売上獲得により  
前期比大幅売上増の予想

デジタル  
ソリューション

- 既存主要顧客案件の拡大
- 株式会社バートによる業務系システム案件による売上獲得

エンジニアリング  
ソリューション

- 3次元CAD/CAMソフトウェア「Mastercam」販売の拡大
- 製造ライン・物流倉庫等の生産性向上 & 最適化を実現するソフトウェア「FlexSim/iPerfecta」販売の拡大

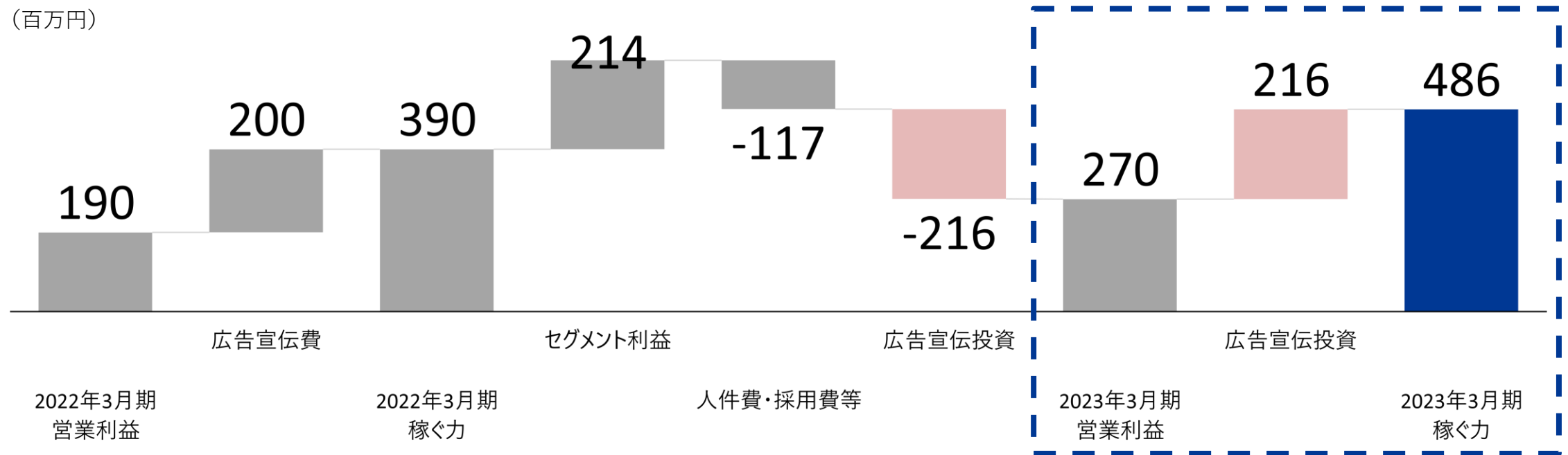
ココダヨ

- NTTドコモ「スゴ得コンテンツ」からの収益の拡大
- AppStore/GooglePlayStore/その他販路からの収益拡大

# 戦略的投資

優秀な人材確保のため、前期に引き続き戦略的投資を継続  
人材投資を吸収した上で、「稼ぐ力」は486百万円と大幅増

(百万円)



# 株主還元

株主の皆様への利益還元を経営上の最重要課題のひとつと考え、事業環境、財政状況、経営成績を考慮のうえ、内部留保と配当のバランスを考えた利益配分を行うことを基本的な考え方としております

## 配当

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期(予想)
<sup>1株あたり</sup> 期末配当金(円)	10.0円 ※1	10.0円 ※1 ※2	10.0円

※1：2021年9月1日付で1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

2021年3月期および2022年3月期の1株当たり年間配当金は、当該株式分割を考慮して算出しております。

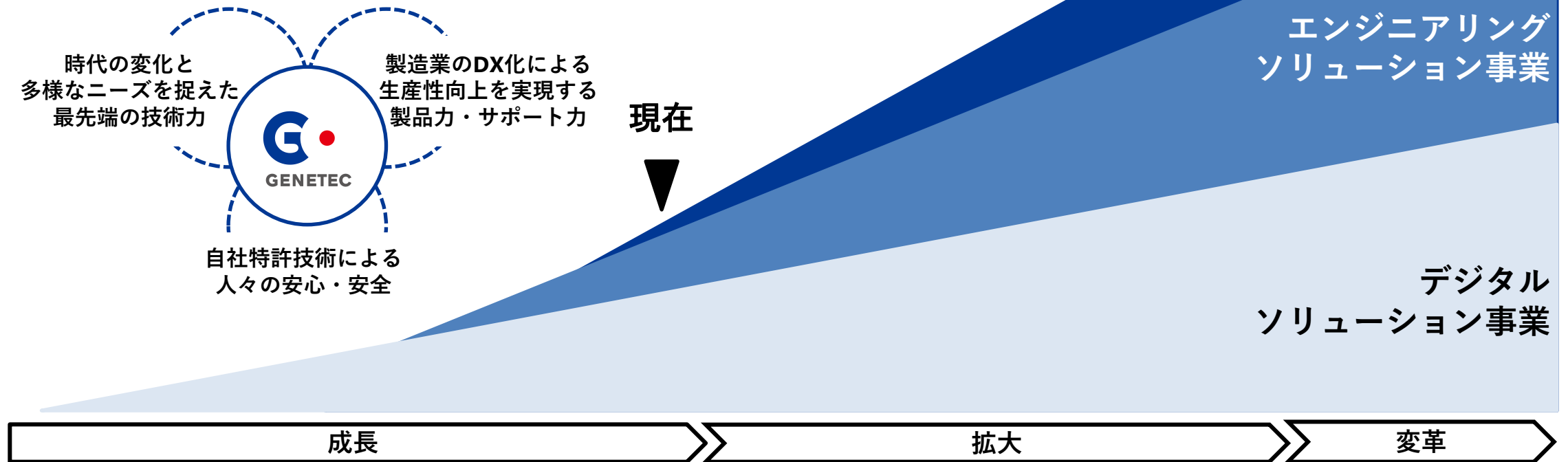
なお、2021年3月期の当該株式分割前の基準による実際の1株当たり配当金は、20円となっております。

※2：中間配当4円（上場1周年記念配当）を含めた年間配当金は、14円となります。

# 事業経営の方向性

# 中長期的な成長の方向性

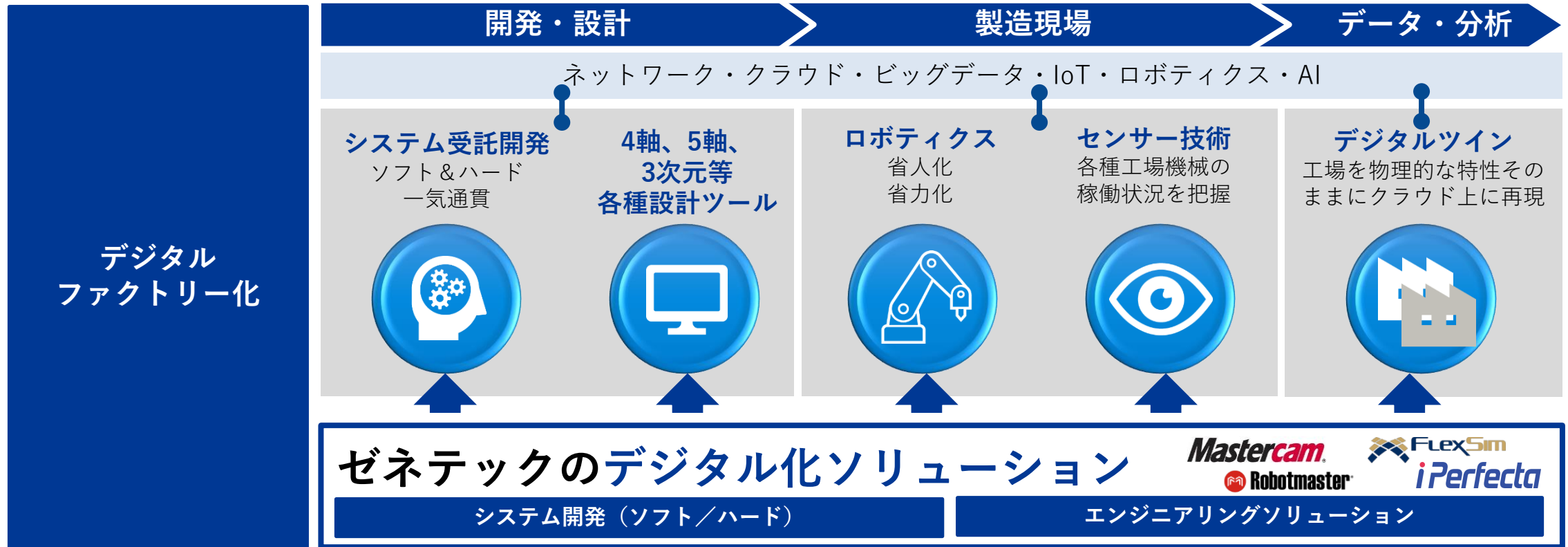
日本の産業、特に製造業・物流業のDX化による  
生産性向上をリードするソリューションプロバイダーへ成長する





# 中長期的な成長の方向性

大手から中小まで全ての製造業をターゲットに生産性の高いデジタルファクトリーを実現



# 日本の製造業を取り巻く課題

## 当社が認識する製造業の課題



設備、工場（建物）の老朽化



IT投資の遅れ



少子高齢化を背景とした労働力不足



脱炭素への対応

## 政府が指摘する2025年の崖（経産省 DXレポート）

既存システムが事業部門ごとに構築され、

- ・複雑化
- ・老朽化
- ・ブラックボックス化

している。これにより競争力が低下し、  
2025年以降12兆円/年の経済損失の可能性を指摘

## 解決策

製造プロセスの「デジタル化（見える化）」が必要

そのために

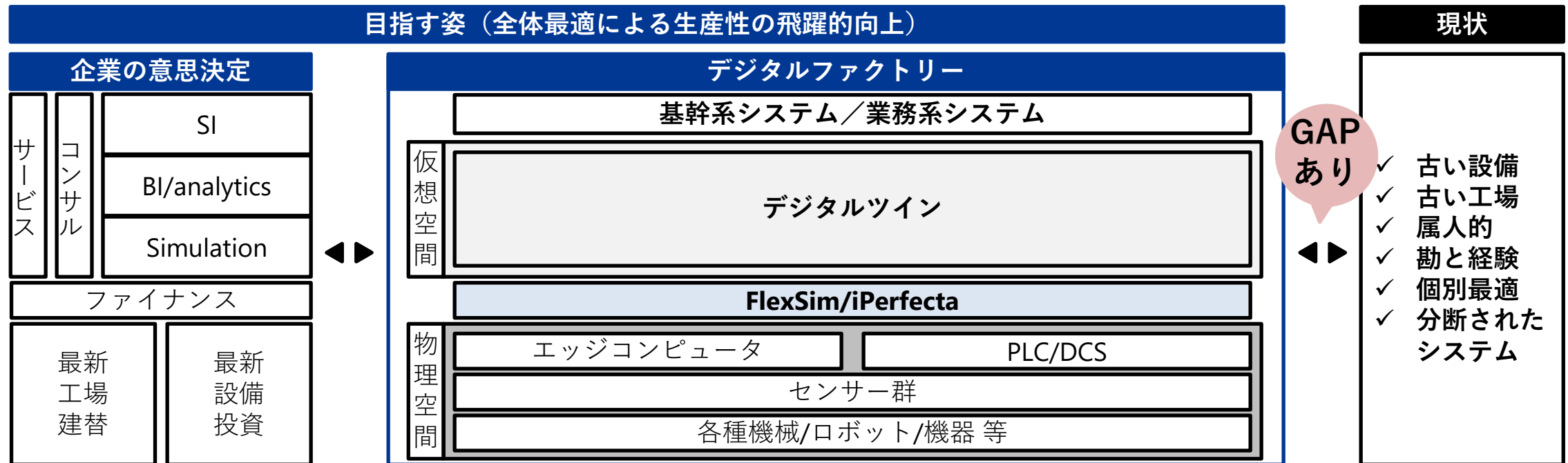
- ・工場の構成要素（人・設備等）のデータ化
  - ・データ集約による一元管理（業務効率化）
  - ・データ分析による対策実施
- これにより、生産性を劇的に高める

そしてこれを実現するのが

「デジタルツイン」を核とするデジタルファクトリー

# 日本の製造業の再生・復活へ向けた取組み

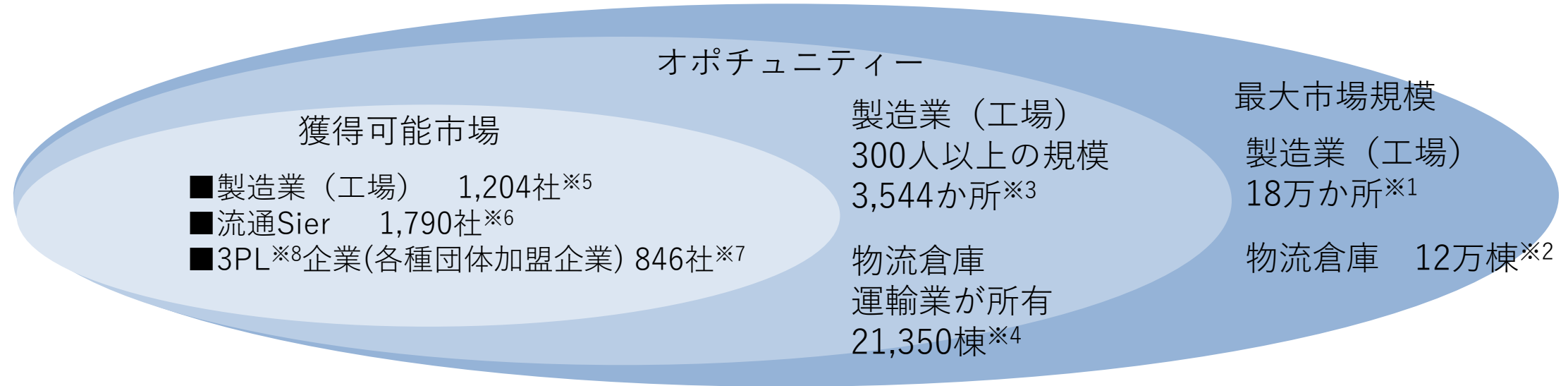
部分的な改善に留まらない生産プロセス全体の高度化、効率化を実現するデジタルファクトリー化を当社商品「FlexSim/iPerfecta」をコアとして推進する



# デジタルファクトリー化推進の当面のターゲット

当面のターゲットは、製造業・物流業の生産性向上

その他、医療現場やショッピングモール等の「人」や「もの」が動く全ての現場がターゲット



<出典>

- ※1 (経産省) 2020 工業統計表 産業別統計表 1100 事業所数
- ※2 (国交省) 平成30年 法人土地建物基本調査 確報>集計>結果の概要 P29
- ※3 (経産省) 2020 工業統計表 産業別統計表 2200 事業所数
- ※4 (国交省) 「平成30年法人土地・建物基本調査」 601 工場敷地以外の建物数

- ※5 ※3のうち、CAEの導入率平均34% (メイテック fabcross for エンジニア) から算出
- ※6 Baseconnect 流通システム開発の会社企業の一覧
- ※7 (国交省) 平成16年3月「日本における3PLビジネスの育成に関する調査」P3
- ※8 3PL: 3rd Party Logisticsの略

# 新たな社会貢献の形：ビジネスコンテスト開催

「人と地球にやさしい社会を、デジタル技術で実現」するアイデアを募る  
ビジネスプランコンテスト「DXチャレンジ2022」を開催予定

当社は、この度、将来を担う若手技術者・起業家の発想力を伸ばし、そのアイデアを活かす環境を創造することを目的としたビジネスプランコンテストを開催することとしました。このコンテストを通して、社会のデジタル改革をより推進させるDX（デジタルトランスフォーメーション）分野のビジネスプランを募り、企画した学生及び若手エンジニアと一緒に実現を目指すことで、デジタル化による「人と地球にやさしい社会」「日本の製造業の復活」に寄与していきたいと考えています。

ゼネテック  
DX チャレンジ 2022  
～人と地球にやさしい社会の実現へ～

テーマ  
人と地球にやさしい社会を、デジタル技術で実現するビジネスプラン

最優秀賞	優秀賞	佳作
賞金 500 万円	賞金 100 万円	賞金 50 万円

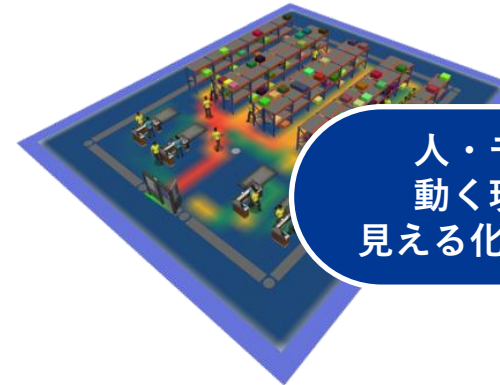
プレエントリー 2022年4月11日(月)～5月31日(火)

# 参考) FlexSimとは

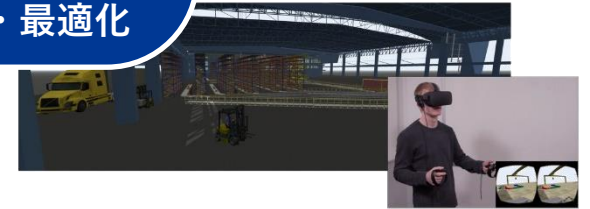
製造ライン・物流倉庫等の生産性向上&最適化を実現するソフトウェア



世界80カ国以上で利用  
グローバル企業での豊富な採用実績  
日本国内での採用も拡大中



人・モノが  
動く現場を  
見える化・最適化



- 工場・倉庫・病院等での人と物の動きをコンピュータ上に正確かつ視覚的に再現
- 既存施設のボトルネックの発見が容易・新規施設の事前検証が可能
- 最適化機能により、仕掛在庫の最少化・スループットの最大化が容易
- 倉庫管理システム (WMS) ・データベース・PLC・ロボット等とも接続可能な豊富なインターフェース
- 強力な3次元レンダリング機能によりデジタルツイン構築用プラットフォームとして好適

# Appendix

# 会社概要

会社名	株式会社ゼネテック		
本社所在地	東京都新宿区西新宿6-5-1 新宿アイランドタワー25F		
代表者	代表取締役社長 上野 憲二		
設立日	1985年7月1日		
決算月	3月		
資本金	3億5,865万円		
役員	代表取締役社長	上野 憲二	
	専務取締役	福間 誠	
	取締役	鈴木 章浩	
	社外取締役	大野 貴史	
	取締役 (監査等委員)	八戸 雅利	
	社外取締役 (監査等委員)	田中 俊平	
	社外取締役 (監査等委員)	水谷 翠	
従業員数 (連結)	275名 (2022年3月31日現在)		

会計監査法人	太陽有限責任監査法人
子会社	アプリハウス株式会社 株式会社バート
拠点	本社・新宿事業所・新横浜事業所 名古屋事業所・大阪事業所・広島事業所 福岡事業所
事業内容	<b>■デジタルソリューション事業</b> ソフトウェア/ ハードウェアシステム開発事業 <b>■エンジニアリングソリューション事業</b> 3次元CAD/CAMシステム/ 3Dシミュレーションソフト等販売・ ソリューション提供事業 <b>■ココダヨ事業</b> 防災用アプリケーション提供事業
上場市場	東京証券取引所スタンダード



# 連結貸借対照表

科目／期別	2021年3月期	2022年3月期
<b>流動資産</b>	2,386	<b>2,470</b>
現金及び預金	1,481	1,044
受取手形及び売掛金	691	951
契約資産	—	65
仕掛品	45	30
その他	169	377
<b>固定資産</b>	458	<b>782</b>
有形固定資産	74	177
無形固定資産	25	276
投資その他の資産	358	328
<b>資産合計</b>	2,844	<b>3,253</b>

## 資産

- 流動資産=子会社取得・PR実施等により現預金436百万円減少
- 固定資産=本社移転・CM映像等により有形固定資産が103百万円増加、子会社取得や販売目的ソフトウェア取得等で無形固定資産資産250百万円増加

## 負債

- 流動負債=主に買掛金が34百万円、未払金が302百万円増加したことにより、流動負債全体で358百万円増加

## 純資産

- 株主資本=経営健全性の維持向上のため、利益剰余金のうち300百万円を資本金に組み入れ

(単位：百万円)

科目／期別	2021年3月期	2022年3月期
<b>流動負債</b>	681	<b>1,039</b>
買掛金	173	208
短期借入金	50	25
未払金	120	422
その他	337	384
<b>固定負債</b>	336	<b>353</b>
社債	25	—
長期借入金	—	21
退職給付に係る負債	311	332
<b>負債合計</b>	1,017	<b>1,393</b>
<b>株主資本</b>	1,827	<b>1,859</b>
資本金	50	358
利益剰余金	1,311	1,019
その他	466	481
<b>純資産合計</b>	1,827	<b>1,859</b>
<b>負債・純資産合計</b>	2,844	<b>3,253</b>

# 連結損益計算書/連結キャッシュフロー

(単位：百万円)	2021年3月期		2022年3月期	
	実績		実績	前期増減
売上高	4,079		4,683	+603
売上総利益	1,561		1,962	+400
販管費	1,307		1,772	+464
営業利益	254		190	△64
経常利益	276		254	△21
当期純利益	173		56	△116

科目/期別	2021年3月期	2022年3月期	前期増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	443	△24	△467
投資活動によるキャッシュ・フロー	△38	△98	△59
財務活動によるキャッシュ・フロー	△76	△94	△18
現金及び現金同等物の期末残高	1,195	978	△216

# 免責事項

## 将来の見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。
- 当社は、将来の事象などの発生にもかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。
- 本書は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘（以下「勧誘行為」という。）を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。

**IRに関するお問合せ先**      **:**      **IR@genetec.co.jp**